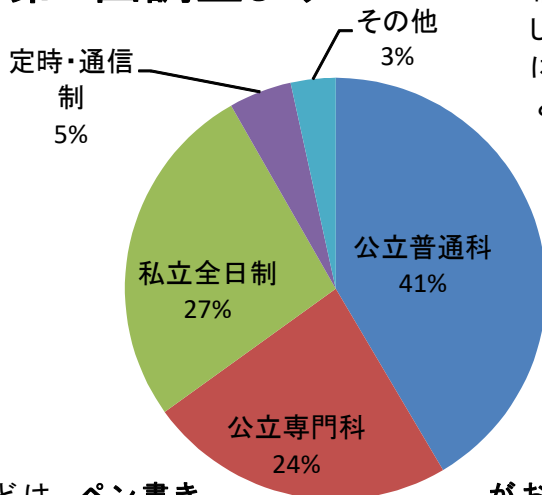


第2回進路希望調査に向けて！



休校中に実施した第1回進路希望調査の結果は以下のグラフの様になりました。まあ、いきなりの調査でしたので、これからドンドンと変わっていくものです。ようやく動き始めた高校側からの様々な学校紹介の取り組みも参考にしながら、**次の3年間で過ごすのに相応しい進路先**を見つけていって欲しいなと思っています。

第1回調査より



などは、**ペン書き**

さて、教育委員会により実施される第1回の進路希望調査(大枝中のみんなには第2回)を本日配布しました。これは全市で実施される今年最初の調査になります。あまり間が空いていませんが、しっかりと考えて、現時点での希望先を書いてください。

第1回調査の進路希望先をすべて確認しました。初めての進路希望調査ということもあり、随分おかしな内容がありました。そこで以下に**今回になった事や気をつけて欲しい事**をあげておきますので、次の調査時に同じようなミスが無いように注意して記入をお願いします。

①鉛筆では書かない！

「迷っているから」「書きそこなったら…」という不安はわかりますが、入試に関する願書や申請書**がお約束**です。今のうちから慣れておきましょう！またその際に、消せるボールペンではない事も確かめてください。(以前に、願書の不備として、高校側から不受理にされた事があります。書き直してから、再出願しに・・・)

②保護者とよく相談を！

まだ進路決定届ではありませんが、保護者としっかり相談してください。「めんどくさ～」と思うかもしれませんが、現実として進学にはお金がかかります。君たちだけで決められせんよね。ただ「保護者の言いなりにしなさい」という訳ではありません。君たちが次のステップを過ごす1番ベストな環境を一緒に悩みながら探して欲しいのです。**けんかしちゃダメですよ！**

③そういう募集はありません！(資料をよく見て)

少なくとも、自分が希望している高校の学科やコース名が書けないのは困ります。特に私立高校のほとんどに「普通科」という募集はありません。例えば近所の「明德高校」なら普通科は「みらい社会Ⅰ」と「みらい社会Ⅱ」、商業科は「みらい社会Ⅲ」です。(しかも未来はひらがなです)各校の個性や目指しているものがコース名に表現されています。しっかり調べて書きましょう。

また公立でも嵯峨野高校の「京都こすもす」(これも「こすもす」はひらがなで)科は「専修」か「共修」という選択が必要です。京都工学院の「プロジェクト工学」科は、「ものづくり分野」か「まちづくり分野」を選ばねばなりません。もちろん今後の説明会や学科体験などで変更もありますが、**現時点でも希望を決めておくことが大切です。**

④公立高校選抜方式はややこしい！(記入例をよく見て！)

「公立第1希望なのに、中期から受験？」(ダメではありませんが)。「前期100%の学科が中期の希望に」。お配りしたスクールガイダンスでよく研究してください。分からないことは担任や進路の係に聞いて下さい。また**公立希望の場合は第2表にも必ず記入**をして下さい！



教育相談中です!!

19日から、教育相談期間中です。休校期間が長引き、担任ともじっくりと話す機会が、ありませんでした。第1回進路希望調査などの話が中心になるとは思いますが、それ以外の困りごとや不安な事をどんどんと相談しましょう！